

研究発表校の紹介

平成29・30・31年度 福岡県重点課題研究・委嘱事業
川崎町立川崎東小学校「中間報告会」

【実施日】平成30年11月29日（木）

【研究主題】

健康な生活を送ることができる力を身につけた児童の育成
～健康カリキュラムづくり・授業づくり・健康教育推進環境づくりの工夫を通して～

1 重点課題研究の内容に対する基本的な考え方

本校の児童の多くは、業間・昼休み、放課後など多くの場面で運動したり、遊んだりしている。また、学校行事や地域のスポーツ行事では、体力向上を図る取組を行ったり、児童委員会活動では、健康に関する知識を高めたりする取組を意図的に仕組んでいった。また、本校児童の実態アンケート調査から、「食」について「食べ物の学習を通してもっと健康な体になりたいと思いますか。」の問いに83%の児童がなりたいたと答えている。しかし、「健康について学校で学んだことを家でも活かそうとしていますか。」についての回答は、46%であり、高学年になるにつれてその割合は減少する傾向が見られた。

さらに、本校の「生活習慣」に関するアンケート結果においては、就寝時刻が、「午後10時以降」と回答した児童が、どの学年においても10%以上であることや、朝食を食べる習慣が定着した児童が76%(全国95.4%、福岡県93%)と低い実態にあることがわかった。

この結果からも、自らの健康を改・維持・向上させるために自分の課題やその解決方法について見通しをもって考え、よりよい解決のために判断し表現する児童は十分に育っていると言えない。

そこで、「食」「生活習慣」「運動」を通して、自らの健康を見つめ、改善・維持・向上していくために考え、自らが実践できる力を身に付けていくことが必要であると考えます。

2 取り組んだ内容及び工夫した点

〈視点1〉実践する力につながる資質・能力を身に付ける授業づくり

○ 実践する力につながる資質・能力を身に付ける授業づくりをするために視点を明確にして単元等に位置付けたことは、有効であった。

● 来年度に向けて視点を絞って研究を推進していく必要があると考える。また、学びの視点の内容についても児童の実態に応じた本校独自の視点の内容を検討していく必要と考える。

〈視点2〉学校教育活動全体におけるカリキュラムの編成

○ 学校教育活動全体におけるカリキュラムの編成のために、年間健康カリキュラムとそれを具体化した7つの目指す児童の姿を関連させたことは、年間を通した健康教育を行う上で、効果的であった。

● 今後は7つの目指す児童の姿（評価）の内容や各学年の系統性について、具体的に検討していく必要があると考える。

〈視点3〉学校における健康教育推進体制等の整備

○ 継続的に児童運営委員会・各委員会を通して活動したことや、健康教育に関する学習参観日を設定し保護者に公開したことは、健康に関する啓発や意識を高める上で効果的であった。

● 健康教育の視点を意識した活動を今後も継続して取り組んだことは効果的であったが、今後は、児童が健康について意識できるように掲示物等を可視化していく必要があると考える。また、今後は、家庭だけでなく地域を巻き込んだ取り組みを意識した取組を図っていきたい。

